

# 大規模災害時における 新聞折込広告の取り扱いについて

大規模災害が発生した場合  
新聞折込が不可能になる場合があります



阪神大震災

## 首都圏折込広告協議会

---

東京都折込広告組合  
多摩折込広告組合  
神奈川県折込広告組合  
埼玉県折込広告同業組合  
静岡県折込広告協議会

東京都第二折込広告組合  
京浜折込広告組合  
千葉県折込広告組合  
茨城県折込広告協議会  
山梨県折込広告協議会

この度、首都圏折込広告協議会では、大規模な災害に襲われた場合の折込の可否について審議をし、次のように決定いたしました。大地震、水害、大雪、噴火、大火災等に襲われた場合、被災地に所在する販売店の崩壊、ライフラインの遮断等、想像し得ないことが起こります。

新聞発行本社、輸送業者、折込広告代理店、新聞販売店は全力を傾注して、新聞及び折込広告を読者にお届けできるよう努力いたしますが、不可能な場合があります。以上のような地震や大災害が発生した場合は、クライアントのご要望にお応えいたしかねる場合があります。同じ災害でも、地域により被害も異なり、新聞販売店によっては、折込が出来なくなります。

東海地区では、東海地震に関する「警戒宣言」が発令された時点で、折込が出来なくなります。速やかに情報を提供いたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 【過去に折込が不可能になった災害事例】

### ●『地震』

地震発生とともにライフライン（輸送、電話、配達網等）の全てが遮断される。

神戸・淡路地震……早朝の発生。翌日新聞は発行されたが、配達が不可能な地区が出た。被害の大きい販売店は崩壊し、数日間折込が不可能となった。

新潟中越地震……夕方の発生。上記と同じ状況であった。

両地震とも販売店の宅配体制が完全に戻るまで、一週間ほどの日時を要した。

### ●『水害』

台風や集中豪雨により河川の氾濫、橋や道路の崩壊、販売店が水に浸る等、輸送や配達網が一部地区で遮断される。

新潟県三条・見附市の水害……刈谷田川が氾濫し、濁流が町を覆った。交通が遮断。販売店は水に浸り、新聞配達（折込広告も）二日間不可能となった。

### ●『土砂崩れ』

集中豪雨による土砂崩れにより道路が遮断された場合。特に山間部で発生し、迂回路が無い場合は輸送が不可能となる。

千葉県外房地区の土砂崩れ……集中豪雨が発生し、土砂崩れで道路が寸断された。迂回路が無く配送車両が立ち往生し、以降の販売店に届けられず折込が出来なかった。

### ●『東海村の放射能漏れ』

各地にある原子力発電所で放射能漏れがあった場合、警察官より広範囲に及ぶ交通規制がひかれる。これにより、輸送は全て遮断される。

茨城県東海村の臨界事故……臨界事故発生直後から周辺道路は封鎖され、車両（新聞も含め）の進入は不可能となり、折込広告を届けられなかった。

## ●『豪 雪』

北海道・東北・北陸等雪の降る地域はもとより、集中的に雪が降った場合、除雪を行っても間に合わず、交通が遮断される。このような場合、迂回路が無く、配送車両が立ち往生し、以降の販売店に届けられず折込が出来ない場合がある。

## ●『火 災』

大火が発生した時、そこに販売店が所在した場合、被害状況によっては販売店の宅配体制が整うまでは、折込作業が出来なくなる場合がある。

東海地震に関しては、「静岡県折込広告協議会」が別途行動基準を掲げています。地震防災対策地域は、静岡県全域、山梨県全域、神奈川県、静岡県隣接市町村、長野県の静岡県隣接市町村、愛知県の静岡県隣接市町村と範囲が広がっています。この地域は、内閣総理大臣が「警戒宣言」を発令する手順となっています。「警戒宣言」を発令された場合は、ただちに避難することになります。交通事情は警察官の指示に従わなければなりません。配送車両は荷物を積んだまま帰社態勢に入ります。警察官の指示で、路上に駐車させたまま避難することもあります。したがって、新聞販売店へ折込広告が届けられず、折込が不可能となります。

折込広告の所在場所		折込会社の行動	折込の可否
広告主・広告会社・県外の折込会社・印刷会社・運送会社などにある場合		通常の折込業務の維持に努める	可能な限り通常業務維持に努めるが、一部実施できない場合がある
折込会社にある場合	配送前 (倉庫等にある場合)	現地情報を収集し、通常配送業務に努める	一部実施できない場合がある。 (ライフラインが遮断されると販売店と連絡が取れなくなり、情報収集が出来なくなり、提供が遅れます)
	配送途中 (一部配送完了も含む)	配送者・現地販売店から情報を収集し、通常配送業務に努める	
新聞販売店にある場合	配送が完了した場合	現地販売店から情報を収集し、折込の可否を確認する	
	朝刊配達前	現地販売店から情報を収集し、折込の可否を確認する	
	朝刊配達途中	現地販売店から配達状況を収集し、折込の可否の部数を確認する	

大規模災害が発生し、折込広告会社や新聞販売店の努力にも関わらず、折込が出来なかった場合には、折込広告会社は一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。



洪水災害



地震災害



台風災害



地震災害



地震災害

首都圏折込広告協議会 / 作成

